

新エネルギー利活用シンポジウム - 地域での副生水素の利活用と産業活性化 -

低炭素社会の実現へ向けて、水素エネルギーは次世代のクリーンエネルギーとして注目され、家庭用燃料電池の導入や水素ステーションなど水素供給インフラ整備に向けた動きが加速されてきております。また、この度の東日本大震災により、エネルギーの多様化・分散化が再認識されるようになりました。

山口県は、全国有数の副生水素生産県でもあり、これまで「水素フロンティア山口推進構想」に基づいた取組をおこなってきております。こうした社会情勢や本県の特性とこれまでの成果を産業振興へと結びつけるため、副生水素の利活用に関する調査や水素関連製品の試作開発等を進めていくこととしており、その端緒として、地域での副生水素の利活用と産業活性化に関するシンポジウムを開催することとしました。

日時 平成 23 年 6 月 10 日 (金) 13:30 ~ 17:00

場所 山口県産業技術センター

〒755-0195 宇部市あすとぴあ四丁目1番1号

TEL : 0836-53-5050 URL : <http://www.iti-yamaguchi.or.jp>

内 容

挨拶 山口県知事 二井関成

講演

「山口県における新エネルギー利活用の取組」

～ 山口県における新エネルギーに関連するこれまでの取組とこれからの取組について ～
山口県 商工労働部 新産業振興課

「燃料電池・水素インフラの現状、課題とその先へ」

～ 低炭素社会の実現に向けた NEDO (独立行政法人 新エネルギー 産業技術総合開発機構) の取組について ～
独立行政法人 新エネルギー 産業技術総合開発機構 燃料電池・水素グループ 主任研究員 細井 敬 氏

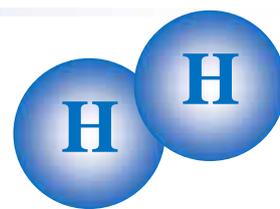
「副生水素の利活用によるまちづくりと産業活性化」

～ 水素エネルギー利用による持続可能な社会と産業活性化の近未来展望、水素社会実現に向けた水素事業のパイオニア企業としての取組、および県内企業の水素関連産業への取組可能性について ～
岩谷産業(株) 水素エネルギー部長 宮崎 淳 氏
産業ガス溶材本部 ガス技術・開発室 ガス開発部 担当部長 谷 義勝 氏

展示

水素自動車の展示、水素自転車展示・試乗、燃料電池模型によるデモ、水素関連研究紹介(試作品、パネル)、LED 関連製品等の県内産環境対応型製品の展示等

定 員 約 200 名 / 参加料 無 料
申込期限 平成 23 年 6 月 3 日(金)
主 催 山口県 / (地独)山口県産業技術センター
後 援 中国経済産業局、(財)やまぐち産業振興財団



参加申込書

E-mail : a16900@pref.yamaguchi.lg.jp

FAX : 083-933-3159

山口県 商工労働部 新産業振興課 次世代産業班 宛

会社・団体名 : _____

所在地 : _____

連絡先 TEL : _____

FAX : _____

E-mail : _____

参加者名	役職	E-mail

参加申込書に記載された個人情報は、申し込み内容の確認、参加者名簿の作成及び次回以降の開催案内にのみ利用します。

お手数ですが、6月3日(金)までに本参加申込書をご送信ください。



【会場連絡先】

(地独) 山口県産業技術センター
〒755-0195

宇部市あすとぴあ四丁目1番1号

TEL : 0836-53-5050

URL : <http://www.iti-yamaguchi.or.jp>

【アクセス】

- 山陽新幹線 新山口駅 より ... 18km (車で 25分)
 - JR 宇部線 床波駅 より ... 4km (車で 7分)
 - 山口宇部空港 より ... 8km (車で 15分)
 - 山陽自動車道宇部IC より ... 3km (車で 4分)
 - 山口宇部有料道路宇部東IC より ... 3km (車で 4分)
- (近郊へのバスの便はほとんどありません)

【事務局】

山口県 商工労働部
新産業振興課 次世代産業班
TEL : 083-933-3150